

平成24年度 第1回高知県公共事業再評価委員会議事概要

日時：平成24年7月9日(金)10:00～11時30分

会場：高知共済会館 3階「藤」

地域高規格道路一般国道493号北川道路（第2工区）新規事業化評価

委員：四国のミッシングリンクは高知に集中しているため、積極的に推進をしていただきたいと考えている。去年、迂回ルートを走行したが、すごく時間もかかって、道が狭く曲がりくねっており、非常に怖い思いをした。たまたま通ってこのような思いをしたが、生活道として利用している方は大変じゃないかと感じた。資料のグラフにもありましたが、最近再々道路が崩れているため、早く整備を進めてほしいと実感しました。

委員長：私も6、7年前に国道493号を通ったことがあり、国道と書いていたので近道と思って通ると、車1台がようやく通れるぐらいの道路ですごく苦労しました。

委員：私は安田町に住んでいるのでとても身近な話でした。県外の方に意見を聞くと車のナビが国道493号を案内するため、初めて通った方はすごくびっくりされる。また、最近土砂崩れ等の災害がすごく多く、生活をされている方にとっては、とても大変な思いをされていると感じます。また、馬路村の方も道路が崩れたりして、迂回路のために奈半利～北川方面に向かう話を聞いたことがあるので、是非とも整備の方を進めていただきたいと生活者として実感しています。

委員長：ありがとうございます。

委員：完成はいつごろですか？

費用便益については、費用も便益もすべて国道493号が全線改良された場合を想定されていますか？

維持管理費が全事業1億円ですが、道路が改良された場合は崩落などがすべて起こらないという前提のものですか？

道路課：完成についてはH30年代半ばを目標としています。

費用便益については、ネットワークで考え、便益については国道493号が全線改良された場合であり、費用については、北川道路第2工区を計上しています。最後に、維持管理費については、現在の危険箇所がすべて整備されるとして考えるので維持管理については必要ないということで計上している。

委員：そうすると費用は北川道路だけで、便益は国道 493 号全体で考えるのですか？

道路課：昔の B/C モデルは、今回の場合でいくと、四国 8 の字ネットワークがすべて 4 車線で繋がり、北川道路第 2 工区だけが繋がっていないという考えのもと便益を出していた。現在は事業化ネットでの算定になり、将来的に平成 42 年度で完成済みの工区は、今、事業着手している工区のみで、事業化していない工区は完成済みとみなせないという、より厳しい設定になっている。ただ、国道 493 号については、ネットワークで将来的に繋がらない限りは、交通量は増えないので、今回北川第 1 工区と東洋北川道路を整備済みと判断したのは、1 つはネットワークが完成した便益を見せたい。それと将来的に整備しないという姿で便益を計るのはおかしいのではと考え、北川第 1 工区と東洋北川道路については整備済みと判断して便益を算出しました。

委員：このときの費用は当該部分だけでいいのですか？

道路課：国道 493 号全体で考え費用を出すべきですが、B/C が 1 を下回ってしまうので、昔のフルネットと事業化ネットを組み合わせた格好で今回は算出した。

委員：そのあたりは様々な見解があります。私は、必要性を認めてないわけではないですが、B/C が 1 を下回っても必要性という意味では集落も孤立するため、B/C では表れない部分を説明し、どうしても整備が必要であると説明した方がいいのでは、と個人的には思います。
また、国道 493 号全体で考えると東洋北川道路はいつできるのですかという話があると思いますが、その点はどうなんですか？

道路課：国道 493 号の全線開通は H40 年代前半です。それと、阿南安芸自動車道を事業化ネットで全線の費用と便益を試算すると 0.8 程度となる。

委員長：国に要求する際も同じような議論になると思いますので、非常に重要なポイントだと思います。

委員：この事業そのものの意義や必要性は理解しているつもりですが、B/C の値だけで判断するのは問題であり、B/C に不審を抱いた値を表に出していくのは危険ではないかと考えている。やはり、国道 493 号全体に対する費用を考え、1.0 を下回るがこれだけの価値があるという考え方が望ましいと思います。
それと、新規事業評価調書について、全体計画の全体事業費 185 億円と費用対効果分析等の総事業費 126 億円の違いについて説明をお願いします。

道路課：費用便益で計算する事業費は185億円を現在価値に換算する。何年かかけて整備する事業費を現在の価値に換算したのが126億円です。

委員：工事完成をH30年代半ばぐらいに想定しているということで、約10年間で考えているわけですか？

道路課：はい。

委員：工事の完成年月によっても左右されるのですね。分かりました。

委員長：先ほど200箇所以上の防災危険箇所があると言っていたが、これらすべての防災対策を行うとどのくらいの費用がかかるか試算されていますか？

道路課：試算はできていません。考えられるのは、のり面对策をした場合、あまりにも地形が急峻で洞門形式等の防災対策が必要になってくるため、非常に費用が高く現道を対策していくのは困難です。

委員長：そういうデータも示す必要があると思う。便益の中に入れる入れないは別にして、計算上の便益ではなく、実際の効果が相当あると思う。便益に維持管理の削減は出てこないのでしょうか？

委員：現行で整備するとこれだけ費用がいる、仮に高規格道路でやるとこれだけ費用が削減できる、ということは、効果として費用便益に入らなくても別で出しておけばいいのではないのでしょうか。費用便益分析は人口や交通量が少ないところは1を切って厳しいということは皆さま理解してると思いますので、どうしても必要なんだということをいかに説明するかは基点をおいて注力していただければと思います。

委員長：国は、国の基準でB/Cを計算すると思いますが、高知県は国交省の全国版のルールにはない便益が発生することは主張するべきと考えます。防災対策費が削減できることを考えると十分説得力があると思います。

道路課：今この場で試算した資料はありませんが、納得できる部分も多々ありますので、それも合わせて数値化し、国の方に要望していきたいと思います。

委員長：他にご意見はありますか。

委員：私は、観光業に従事してまして、今、東方面は非常に注目を浴びています。いくら観光で注目されても受け皿となる定住人口がなければ、地域は活性化し

ません。定住人口を増やすには、地域の道路が整備されていなければならない。観光客を受け入れるということは外貨を稼ぐことにもなります。経済の活性化には観光が1番大事で、そこに定住人口が必要です。定住人口を確保するには安全な道路が整備されていなければならない。8の字ネットワークは全て繋がっていないので、ネットワークになっていません。早急に繋げていただきたい。繋げるためには住民の希望も叶え、また行政、民間も納得したうえでやらないといけないと思います。

道路課：最近は特に東部地域は元気になってきているので、観光の面としては私たちも十分理解している。県としても観光の底上げにつながるようバックアップしていきたいと考えている。

委員：この道路は当然やるべきと考えている。とにかく、高知の道路は整備が遅れている。地震も予想されているため命の道については早急に道路整備をしていただかないとならないと考えています。英知を結集して、この道や8の字ネットワークが早期に完成できるようにご協力をお願いしたいと思います。それと、震災対策でこういった道路整備に特別な補助はどのようになるか気になる所ですし、また、増額といった手厚い施策が行われるような努力もお願いしたいし、今の状況もお聞きしたい。

道路課：県全体としてまだまだ8の字ネットワークをはじめとして、いわゆるハード整備の震災対策も必要な部分もございますので、それについては県全体で政策提言という形で特別立法の制定や補助率のかさ上げや減災対策費の総額確保に向けて強力に要望をしています。
公共事業費全体ではかなり厳しい状況が続いています。補助事業は基本的に交付金に移行したため、残っているのは県の事業でいうと地域高規格道路のみとなります。これについてもかなり削減されているので、あわせて事業費全体の確保をしていきたいと考えています。

委員：先ほど、特に費用対効果を考える上で貴重な意見をもらいました。国の費用対効果を計算するマニュアルの中では、数値化できるものは積極的に数値化して評価することになっている。何年か前に便益の範囲を広げて国に認められた経緯もある。先ほどの防災対策や維持管理費など、県の予算として費用が削減される可能性があるかもしれないので、そういうところはマニュアルを見ていただいて正当なところを入れていくのが、この道路の危険性や必要性を話すうえで重要であると思います。
この委員会の結論とは別に計算した結果を委員の方に説明をするというのはどうでしょうか？

委員：是非、再計算していただきたい。我々はこの事業を否定していくのではなく後押しする形で、高知の特異な状況を盛り込んでいけたらと考えている。そのあたりを修正してまた資料を頂けたらと思います。

道路課：貴重なご意見ありがとうございます。特に B/C は具体的な意見を頂きましたので、試算をさせていただきます。委員の方々には後ほど結果の報告もさせていただきますと思います。今後、概算要望に向けて国との協議も必要ですので、その際にはその資料も検討して要望していきたいと思います。

委員長：金額が具体的に計算できるものは盛り込んでいいとマニュアルに書いてあるので、その辺は委員の方の意見を踏まえて、高知県としての解釈をふまえてご検討いただき、結論を出していただきたいところです。委員の方にお聞きしますが、今の計算結果も見たいところですが、計算するまでもなく、皆さまのご意見は事業化すべきとご了解させていただいています。計算結果は後日、委員の方々にお知らせするというのを付け加えて、この場で結論を出すということによろしいでしょうか。

各委員：はい。

委員長：では、その方針を踏まえまして、委員の方にお諮りいたしますが、「事業化する必要がある」を結論とすることに、ご異議はありますか。

各委員：異議なし。

委員長：委員会として、早期の新規事業化するとの意見を決したということにさせていただきます。